

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会

平成25年3月7日同時配布

平成25年3月7日
道路局
国土技術政策総合研究所

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発 ～研究募集の審査結果～」について

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合することにより、道路政策の質を一層向上させるため、新道路技術会議（H16.10.13 設置）を設置し、道路政策の質の向上に資する技術研究開発を進めているところです。

平成24年10月23日～平成24年12月3日の期間、平成25年度から取り組む技術研究開発の募集を実施したところ、46件の応募がありました。

応募いただいた技術研究開発について、平成25年2月27日に開催されました「新道路技術会議」（委員長 三木千壽 東京都市大学教授）において審査を行った結果、別紙のとおり5件が採択されましたのでお知らせいたします。

詳細は、国土交通省道路局「道路政策の技術研究開発」のホームページに掲載しております。

(<http://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>)

<問い合わせ先>

道路局国道・防災課

課長補佐 松田 和香

代表 03-5253-8111（内線 37862）

直通 03-5253-8493 FAX：03-5253-1620

国土技術政策総合研究所

道路研究官 稲野 茂

直通 029-864-2219 FAX：029-864-0178

※本記者発表資料については、国土交通省ホームページ（アドレス：<http://www.mlit.go.jp>）にも掲載しています。

「新道路技術会議」による審査の結果、採択された研究（研究テーマ名と応募時の提案概要等）は以下のとおり。

【政策領域 1：新たな行政システムの向上】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究 テーマ名	広域道路ネットワークの耐災害信頼性から観たリンクの脆弱度及び改良優先度の実用的評価手法の開発と適用性評価	家田 仁 (東京大学)
提案概要	社会資本整備において実用的な道路ネットワークの信頼性評価手法に着目し、広域道路ネットワークの耐災害信頼性の観点から、リンクの脆弱度及び改良優先度の評価手法の開発を行う。また、東北地方をはじめとする日本各地の自然災害と空間条件の実情を踏まえた現実的な道路ネットワークの信頼性指標の特性分析に基づいてその適用可能性を評価する。	

【政策領域 2：道路ネットワークの形成と有効活用】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究 テーマ名	物流の効率化と環境負荷の低減の両立を目指した道路政策についての研究開発	谷口 栄一 (京都大学)
提案概要	大都市における貨物車交通の問題は、経済の発展・環境の改善・省エネルギー・交通安全の観点から非常に重要な問題であり、本研究開発においては、東京や大阪などのメガシティにおいて物流の効率化と環境負荷の低減の両立を目指した道路政策を立案するための貨物車交通マネジメントの方法論について研究を行う。	

【政策領域 4：コスト構造改革】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究 テーマ名	道路橋示方書の改定を踏まえた性能設計概念に基づく設計照査手法についての研究開発－特に下部構造物を中心として－	本城 勇介 (岐阜大学)
提案概要	道路橋示方書は、H23年度改定に引き続き、数年以内に性能設計概念の徹底と、部分係数法による設計照査を全面的に導入した大幅改定が予定されている。本研究はこの改定に備え、この概念と手法を全面的に取り入れた、道路構造物への要求の高度化と多様化への対応、建設や維持補修のコストの縮減等を目指した設計照査手法を廻る諸問題に、具体的な解を示すことにより、性能設計の導入の効果が速やかに発揮されることを目的としている。	

【政策領域 6 : 交通事故対策】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究 テーマ名	事故発生位置情報を用いた事故分析総合システムの研究開発	山田 晴利 ((公財)交通事故 総合分析センタ ー・東京大学)
提案概要	これまでの事故データでは、事故発生位置がわかるのは道路管理者がマッチング作業を行って位置情報を附与している一般都道府県道以上の道路での事故のみであり、これ以外の道路の事故発生場所は不明で、場所を特定しての分析はできなかった。2012 年から全ての人身事故について発生位置が附与されるようになったので、地理情報システム(GIS)を援用し位置情報の入力支援・品質管理から分析まで網羅できる、わが国初の総合的な全国事故分析システムを研究・開発する。これは事故分析のもっとも基本的な情報基盤であり、細街路、ゾーン30 等これまで十分な分析が行えなかった道路、地域を対象とした分析に加えて、ヒヤリ・ハットデータやドライブレコーダのデータとの連携、沿道の建物用途・土地利用形態・道路線形との関連分析を可能とし、「幹線道路と生活道路における事故対策の展開」に寄与する。	

【政策領域 8 : 道路資産の保全】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究 テーマ名	繊維シートや鋼板によって補強された RC 部材の再劣化に対する健全度評価法の開発※	鈴木 基行 (東北大学)
提案概要	経年劣化した道路橋は、補修・補強されて供用が続けられている。本研究は、繊維シートや鋼板補強によって表面が覆われ、再劣化による変状が目視確認できない桁や床版などの RC 部材に対して、非破壊検査法と健全度評価法を開発する。	

※ F S (革新的研究調査) 研究として採択。

政策領域 8 の 1 件 (※を付しているもの) については、F S (革新的研究調査) 研究として採択。
政策領域 3、5、7、9、10 については該当無し。

なお、採択された各研究課題については、新道路技術会議での審査時の審議内容に基づき、研究内容の調整等を行った上で、平成 25 年度の技術研究開発を進めていただくこととなります (応募及び審査結果の概要、新道路技術会議委員については、参考を参照)。

以 上

道路政策の質の向上に資する技術研究開発の応募及び審査結果の概要

		タイプⅠ 政策実現型	タイプⅡ 技術ブレイク スルー型	タイプⅢ 新政策領域 創造型	FS 革新的研究調査	合 計	
		応募 (件)	応募 (件)	応募 (件)	応募 (件)	応募 (件)	採択 (件)
領域1	新たな行政システムの創造	5	1	1	1	8	1
領域2	道路ネットワークの形成と有効活用	1		3		4	1
領域3	新たな情報サービスと利用者満足度向上		2			2	
領域4	コスト構造改革		1		1	2	1
領域5	美しい景観と快適で質の高い道空間の創出		1			1	
領域6	交通事故対策	2	3		1	6	1
領域7	防災・災害復旧対策	2	5		1	8	
領域8	道路資産の保全	1	8			9	1
領域9	沿道環境、生活環境		1			1	
領域10	自然環境、地球環境		3	1	1	5	
合計(件)		11	25	5	5	46	5



新道路技術会議 委員名簿

- 委員長：三木 千壽 東京都市大学 教授
- 委員：赤羽 弘和 千葉工業大学 教授
- 委員：石田 東生 筑波大学大学院 教授
- (委員長代理・ソフト分科会長)
- 委員：川崎 雅史 京都大学大学院 教授
- 委員：清野 純史 京都大学大学院 教授
- 委員：柴崎 亮介 東京大学 空間情報科学研究センター 教授
- 委員：末岡 徹 (社)日本建設業連合会 土木工事技術委員会
専門委員
- 委員：竹内 健蔵 東京女子大学 教授
- 委員：谷 和夫 防災科学技術研究所 減災実験研究領域
兵庫耐震工学研究センター 研究員
- 委員：中越 信和 広島大学大学院 教授
- 委員：二羽 淳一郎 東京工業大学大学院 教授
- 委員：根本 敏則 一橋大学大学院 教授
- 委員：前川 宏一 東京大学大学院 教授
- (ハード分科会長)
- 委員：森 猛 法政大学 教授
- 委員：森川 高行 名古屋大学大学院 教授
- 委員：吉川 正嗣 (社)建設コンサルタンツ協会
インフラストラクチャー研究所 主任研究員

(敬称略、五十音順)